

令和 8 年 3 月吉日

植物性ナノ型乳酸菌 SNK「抗ストレス」 PRISMA2020 対応・新様式対応のお知らせ

株式会社 IHM
機能性食品原料事業部

株式会社 IHM（東京都品川区）が販売している植物性ナノ型乳酸菌 SNK®（以下、SNK）を配合した製品「ナノ型乳酸菌 SNK 1 0 0 0 顆粒」について、**抗ストレス**で **PRISMA2020 対応版**の SR を用いて**新様式**に対応した機能性表示食品届出が受理されました。主な内容は以下の通りです。

届出番号	K 7 8 3
商品名	ナノ型乳酸菌 SNK 1 0 0 0 顆粒
機能性関与成分	<i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株
表示しようとする機能性	本品には <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株が含まれます。 <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株には、仕事や勉強などに伴う一時的な精神的ストレスを緩和する機能があることが報告されています。
一日摂取目安量	<i>Lactiplantibacillus plantarum</i> SNK12 株 1000 億個（原料換算として 50mg） / 袋
内容量	30 袋
届出者	株式会社 IHM

<関与成分について>

SNK は、長野県木曾地方で伝統的に食されてきた無塩の漬物「すんき漬け」から単離・培養し、特許製法でナノ化・分散処理を施した乳酸菌体（特許番号：第 7466166 号）で、グラム 2 兆個を規格しています。

これまでにマウスを用いた研究では、ストレスフリー環境下と慢性的な社会的挫折ストレス下において SNK を経口摂取させることにより、マウスの海馬における脳由来神経栄養因子 (BDNF)、ニューロトロフィン 3(NT-3)、ガンマアミノ酪酸(GABA)受容体の mRNA の発現が上昇し、学習能力と鬱的行動様式の改善が認められることが確認されています。

SNK の摂取は腸管に対して直接的に抗炎症的に作用するか、あるいは腸内細菌叢を変化させ、酪酸などの短鎖脂肪酸の産生を介して、脳由来神経栄養因子 (BDNF) の発現を増加させることで一時的な精神的ストレス負荷時の否定的な感情や気分の不調を改善した可能性が考えられます。

さらに SNK はヒト臨床試験にて同量で睡眠改善効果を確認、2025 年 12 月に英文論文が受理されました (Life (Basel) : doi 10.3390/life16010026.)。現在、SR 作成に取り掛かっており、【睡眠+ストレス】の W ヘルスクレーム訴求ができるよう準備を進めております。

以上